

スーパーデイようざんミニ事例集

入浴拒否が強い方の相談ケース

心も体も温まる、その方に合わせた入浴方法

要旨:S様(男性・要介護度3)

S様と初めてお会いしたのはH24年5月でした。とても気さくな方で奥様を大切にされているご利用者様です。『母ちゃんが大好きだ!』と皆様の前で宣言される程の愛妻家で自宅に居たいと話されていますが、今は週4日お元気にご利用になっております。



主介護者の奥様と2人暮らしのS様。歩行がやや困難で介助が必要な状態。奥様も高齢で介護疲れや認知症進行予防の為、スーパーデイようざん飯塚の御利用が始まりました。以前は他デイサービスをご利用だったS様ですが、自宅での入浴や更衣も困難な状況でデイサービスでの入浴も拒否されており、3ヶ月以上入浴が出来ていない状況でした。

出来るだけ更衣や髭そりが出来るように、そして最終目標は【気持ちよく入浴して自宅へ帰って頂く】事を職員一同で話し合い、ケアを行っていました。

まず第一歩としてご本人様と多く会話の時間を設け、ご本人様の性格を知り、ご本人様の好きな事・嫌いな事を見つけたら始めました。また、奥様の体調不良もあり自主事業の泊まりをご利用される時は、毎回入浴のアプローチをしましたが『嫌だ!』の一点張り・・・仲の良い利用者様に声を掛けて頂いたり、外出後に入浴にお誘いしても難しい状況でした。その様な中で比較

的、午前中とても機嫌が良い事に気が付き、ダメ元で来苑後すぐ『お湯が沸いたので、目覚めに良かったらお湯に浸かってみませんか?』と話しかけると『お湯が沸いてるの? いいの? 入って? 丁度入りたいと思ってたんだよね』と思いがけない答えが返ってきました。

その朝、湯船の中で『気持ちいいな! 毎日入りたいな!』と大満足の笑顔を見せて下さり、見事、入浴され洗髪・洗身・爪切り・髭そり・皮膚観察が出来ました。

それから定期的に朝一番の入浴に応じて頂けるようになり、『皮膚の観察をさせて下さい』『身体検査をさせて下さい』と言う声掛けで、日中の入浴もスムーズに出来るようになり今では週2回入浴されております。

そして入浴後はノンアルコールビールでの一杯。『最高だ! これは良い所だな』とのお言葉も。

入浴は裸になり『恥ずかしい』と話される利用者様も多く、足浴や手浴から徐々にその方との信頼関係を築き、声掛けや対応、入浴時間などタイミングも重要だと実感しています。

人それぞれ入浴の時間帯が違うようにご本人様が気持ちよく入浴できる時間帯を見つけ出し、入浴でのリラックス効果や癒しを多くの利用者様に提供出来るように一人ひとりの利用者様と向き合っております。

ポイント!

- ◎一人一人に合わせた時間とペースでの入浴が可能です。
- ◎朝7時から送迎を可能にしています。お帰りは19時30分までご利用いただけます。
- ◎認知症についての勉強会をもち認知症ケアの専門性を高めています。
- ◎常時5名から6名の職員を配置しています。

今回の事例はスーパーデイようざん飯塚、新井が紹介させて頂きました。

